

## 2014年度 特別支援教育研究委員会

### 第1回 特別支援教育研究委員会 2014年5月30日（金）9:20～ 橿原市中央公民館

◎講義「発達障害の理解と対応」 講師 大和中央高校 福井康博（座長）

今年度の研究を進めるにあたり、講義を通じて各委員が発達障害についての理解と知識を深めた。

### 第2回 特別支援教育研究委員会

2014年6月20日（金）9:20～ 佐藤薬品スタジアム会議室

◎各学校で展開している「障害者についてのHR」の指導案を持ち寄り、報告し合った。

◎指導案作成に向けて

- ・ねらい：気づきにくい障害について理解し、どのように対応すべきかを考える。
- ・題名：発達障害について
- ・教材名：「発達障害って何？」

① 各自、展開例を考える。（30分）→各自発表。

② 発達障害のある者の「困り感」の例を各自考えて、2つのグループに分かれてまとめて、各グループから発表。

③ 発達障害のある者の「困り感」の対処・対応について、A・Bグループに分かれてまとめて、各グループから発表。

### 第3回 特別支援教育研究委員会 2014年9月19日（金）9:20～ 橿原公苑本館会議室

◎各自作成した「特別支援教育」についてのホームルーム指導案を出し合って、説明した。

#### 図書の紹介

「アスペルガー症候群」 権田真吾 彩図社

「アスペルガーですが、妻で母で社長です。」 アズ直子 大和出版

「アスペルガーですが、ご理解とご協力をお願いいたします。」 アズ直子 大和出版

「発達障害 ヘンな子と言われつづけて」 高橋今日子 明石書店

◎二階堂養護学校の先生に質問

### 第4回 特別支援教育研究委員会

2014年10月31日（金）9:20～ 平城高校 PC 教室・小会議室

◎公開 HR

○目的

「特別支援教育」についての指導案・教材の作成を行っているが、指導案・教材を作成するためには、試案の指導案をもとに実際に HR を展開して検討・改良する必要があると考え、以下のとおり、公開 HR・研究協議を行った。

○生徒への事後アンケート結果

Q1 今日の授業の内容について、どのように思いましたか。

① とても良かった	② 良かった	③ あまり良くなかった	④ 良くなかった
7人	27人	4人	0人

Q2 今日の授業は分かりやすかったですか。

① とても分かりやすかった	② 分かりやすかった	③ あまり分からなかった	④ 分からなかった
8人	27人	3人	0人

Q3 今日の授業の内容は、あなたの生活に活かせると思いますか。

① 大いに活かせると思う	② 少しは活かせると思う	③ 活かせないと思う	④ 分からない
14人	22人	2人	0人

○研究協議

- ・ 標題の「見えにくい障害」を「気付きにくい障害」とした方が良い。
- ・ ディスレクシアの見え方の例として、見えているが文字として認識できない例を挙げても良かった。
- ・ トム・クルーズやスピルバーグのディスレクシアとしての具体的なエピソードを語っても良かった。
- ・ 障害名を出す場合は、「診断は医師によるもの」と押さえると、言葉の一人歩きを防ぐことにつながる。
- ・ ASD や ADHD のそれぞれの課題を挙げても良かった。
- ・ ワーク 1 では、「ASD の A さんが」などと A さんの状況を付け加えると分かりやすい。
- ・ 情報機器の発達（アシスティブ・テクノロジー）が発達障害のある人に生きやすさをもたらしたことを、「情報」の授業で触れても良い。
- ・ ワーク 2 は実施しなかったが、実施した場合、生徒の反応はどうだったか予想してみた。

◎各自作成・改良した「特別支援教育」についてのホームルーム指導案を出し合った。

### 冊子の紹介

札幌市が冊子『ともに生きるまちづくり「心のバリアフリーガイド」～高齢の方や障害のある方への心のバリアをとりのぞこう～』を作成しています。下の HP でも閲覧できます。

<http://www.city.sapporo.jp/fukushi/machizukuri/kokoronogaido.html>

## 第 5 回 特別支援教育研究委員会

2015 年 1 月 9 日（金）9:20～ 樺原公苑本館 会議室

◎今年度の総括

- ・ 総括原稿及び指導案の検討。
- ・ 人権学習新教材等検討会の経過報告及び教材案の検討。

### 用語について

文部科学省 HP に発達障害に関する用語の定義が示されています。下記の URL を参照ください。

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/tokubetu/hattatu.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/tokubetu/hattatu.htm)